

星降る佐野

皆さんは、佐野市が関東屈指の「星空スポット」であることを知っていますか？

環境省が毎年夏と冬に実施している「デジタルカメラによる夜空の明るさ調査」において、本市の作原自然環境保全地域が、関東地方で有数の天の川がよく見える良好な夜空とされています。

令和7年度夏の調査結果においても、関東地方1都6県計57の観測地点（離島を除く）の中で最高の20・90という等級を示しています（左表参照）。

にぎやかな街の灯りから少し離れ、北部の山間部「奥佐野」へと車を走らせれば、そこには息をのむような光景が広がっています。見上げる空を埋め尽くす星々が静寂の中で優しく瞬きます。冬には凜と澄んだ空気の中に星座たちが鮮やかに浮かび、夏には淡い光の帯である天の川が夜空を静かに横断します。これほど豊かな夜空が、私たちのすぐそばにあること。それは、都会の喧騒では決して味わうことのできない、佐野市が誇るぜいたくな日常です。

足元を照らす街灯も大切ですが、見上げた先にある暗闇もまた、佐野市が誇るべき貴重な資源です。今夜、少しでも明かりを消して、私たちの頭上に広がる「天然のプラネタリウム」を見上げてみませんか。

地形が守った「奇跡の暗闇」

作原地区がこれほどまでに美しい星空を保っている理由は、その独特な地形にあります。三方を深い山々に囲まれていることで、周辺都市からの光が遮断され、光害（ひかりがい。過剰・不適切な人工の光による公害のこと）の影響を最小限に抑えることができています。

この暗闇は、作原の豊かな自然と、そこに暮らす人々が静かな夜を大切にしてきた証でもあります。

【星空鑑賞を楽しまれる皆さまへ】

このページの写真ですが、撮影ポイントは深い山奥にあり、道中の林道は落石や野生動物との遭遇など、夜間走行が非常に危険です。携帯電話も通じません。星空を楽しむ際は、安全が確保された場所で、無理のない計画を立ててお楽しみください。

関東地方の観測データ

等級 (mag/□")	夜空の明るさ目安	地点数
21以上	天の川の複雑な構造が確認でき星団などの観測ができる	0
20以上 21未満	山や海などの暗さ。天の川がよく見られる	8
19以上 20未満	郊外の暗さ。天の川が見え始める	2
18以上 19未満	住宅地の明るさ。星座の形がよく分かる	5
17以上 18未満	市街地の明るさ。星座の形が分かり始める	26
17未満	都市部の明るさ。星はほとんど見られない	16

環境省「デジタルカメラによる夜空の明るさ調査（令和7年度夏）」による